

第19回日本ファシリティマネジメント大賞 「優秀ファシリティマネジメント賞」受賞

第一生命保険株式会社(代表取締役社長:隅野 俊亮、以下「当社」)の日比谷本社(第一生命日比谷ファースト内)および豊洲本社(豊洲キュービックガーデン内)は、公益社団法人日本ファシリティマネジメント協会が主催する「第19回日本ファシリティマネジメント大賞(以下「JFMA 賞」)」において、「優秀ファシリティマネジメント賞」を受賞しました。

2024 年 8 月に受賞しました「日経ニューオフィス賞 ニューオフィス推進賞」に続けての受賞は、過去 10 年間で 172 件受賞(*1)のうち 10 件のみになります。

JFMA 賞はファシリティマネジメント(*2)の手法を取入れ、「経営への貢献」を始めとした、優れた成果をあげている活動を表彰しており、当社は第 17 回に続き 2 回目の受賞となります。

当社は「世紀を超えて続くオフィスの Re-Novation」をコンセプトに掲げ、既存建物を大規模かつ大胆にリノベーションし、その後も PDCA を回しながら継続的にオフィス改善に取り組んでいることが評価され、受賞に至りました。

今後もファシリティマネジメントにおける取り組みを通じて、創造性を発揮できる環境を整え変革をさらに加速させることで、2030 年を目途に第一生命グループが目指す姿(「グローバルトップティアに伍する保険グループ」、「保険業の未来を先導する存在になること」)の実現を目指していきます。



■ リノベーション概要

当社は、創業以来、お客さまや社会のために絶えず「変革と挑戦」を続けてきています。また、日比谷本社も、軟弱な地盤を克服し、日本一堅牢で安全なビルとして、1938 年に竣工した第一生命館を起源としており、その後も時代に応じた機能を追求しながら、1993 年には「世紀を超えて続くオフィスビル」として再構築するなど、「変革と挑戦」を重ねてきました。今回のリノベーション計画も、歴史的価値を守りながら「2030 年に目指す姿」を後押しする基盤づくりとして抜本的な見直しを実施しています。

(*1) 2014 年から 2023 年における日経ニューオフィス賞受賞件数

(*2) 企業や団体等が組織活動のために、施設とその環境を総合的に企画、管理、活用する経営活動

■ 主なポイント

- 歴史的建造物としての価値を最大限体感できる意匠へリノベーションし、テナントビル化することで、財務基盤を強化し、経営へ貢献している。
- 新館と本館のフロア一体化による「つながる」基盤の構築、LOFFT を中心とした入居者の利便性向上、WELL 認証プラチナの取得など、ユーザーへの配慮も行き届いている。
- 完成後もテナント従業員を含む定例検討会を通じた継続的なオフィス環境改善を実践している。
- 環境・地域・社会の Well-being 実現に向けた取組みを推進している。
- ファシリティマネジメント視点での抜本的な見直しを日比谷本社にとどまらず豊洲本社でも実施し、両拠点がつながる環境を整備している。

【「第 37 回日経ニューオフィス賞「ニューオフィス推進賞」を受賞】

https://www.dai-ichi-life.co.jp/company/news/pdf/2024_027.pdf

【「ポストコロナ時代のウェルビーイングが高まるオフィスビル」をコンセプトにした日比谷本社ビルの本格リノベーションの開始について～新ビル名称は「第一生命日比谷ファースト」～】

https://www.dai-ichi-life.co.jp/company/news/pdf/2022_003.pdf